

平成 28 年度

6 月 補 正 予 算
主要事業概要説明資料

飛 騨 市

目 次

(総務部)

地域防災対策事業(熊本地震職員派遣・防災備品購入)	1
公共施設等総合管理計画策定事業	2

(企画部)

ふるさと納税推進事業	3
地域おこし協力隊活用事業	4
ふるさと子ども大使事業	5
(仮称)飛騨市ファンクラブ事業	6
空き家流動化対策事業	7
小さなまちづくり応援事業	8
薬草ビレッジ構想推進プロジェクト事業	9
魅力ある地元高校づくり事業	10
先端科学都市構想推進事業	11
旧神岡鉄道利活用検討事業	12

(商工観光部)

飛騨市特産品認定制度検討事業	13
ビジネスサポートセンター開設準備事業	14
企業就職情報発信事業	15
インターンシップ支援事業	16
中心市街地店舗拡大促進事業	17
飛騨古川まつり会館展示装飾検討事業	18
「(仮称)飛騨市体験博」開催準備事業	19
まちなか観光案内所開設事業	20
古川町中心市街地観光サイン整備事業	21
外国人観光客受入促進事業	22
コンベンション誘致推進事業	23
池ヶ原湿原遊歩道整備事業	24

(市民福祉部)

病児・病後児保育委託事業	25
障がい者福祉施設整備補助事業	26
福祉事業基金積立金	27

(市民福祉部)

在宅重症心身障がい児医療型短期入所支援事業	・ ・ ・ ・ ・	2 8
自発的活動支援事業	・ ・ ・ ・ ・	2 9
発達支援センター相談支援体制強化事業	・ ・ ・ ・ ・	3 0
老人福祉施設整備補助事業	・ ・ ・ ・ ・	3 1
買い物弱者対策支援事業	・ ・ ・ ・ ・	3 2
高齢者等屋根融雪等整備助成事業	・ ・ ・ ・ ・	3 3
介護人材確保対策事業	・ ・ ・ ・ ・	3 4
高齢者リハビリ元気推進プロジェクト事業	・ ・ ・ ・ ・	3 5
河合保健デイサービスセンター設備改修事業	・ ・ ・ ・ ・	3 6

(農林部)

飛騨エゴマの里推進プロジェクト事業	・ ・ ・ ・ ・	37, 38
伝統野菜振興事業	・ ・ ・ ・ ・	3 9
安峰山展望台歩道設置事業	・ ・ ・ ・ ・	4 0

(基盤整備部)

生活道路等緊急整備事業	・ ・ ・ ・ ・	4 1
市道跡津川線調査設計事業	・ ・ ・ ・ ・	4 2
橋梁保全整備計画策定事業	・ ・ ・ ・ ・	4 3
百足城跡公園整備事業	・ ・ ・ ・ ・	4 4

(教育委員会)

ふるさと読本作成事業	・ ・ ・ ・ ・	4 5
ふるさと教育推進事業	・ ・ ・ ・ ・	4 6
飛騨市美術館等運営検討事業	・ ・ ・ ・ ・	4 7
ユネスコ無形文化遺産登録推進事業	・ ・ ・ ・ ・	4 8
ノルディックウォーキング普及事業	・ ・ ・ ・ ・	4 9

(消防本部)

神岡町消防防災ヘリポート整備事業	・ ・ ・ ・ ・	5 0
------------------	-----------	-----

地域防災対策事業（熊本地震職員派遣・防災備品購入）

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
2,800	その他	旅費
(前年度 0)	一般財源	備品購入費
	2,000	500
	800	2,300

2 事業背景・目的

熊本地震の被災地支援のため岐阜県からの派遣要請を受け5月25日～30日まで保健師1名を熊本県御船保健所へ派遣し、被災者の健康相談・避難所の衛生対策などを行いました。今後も岐阜県及び全国市長会等からの派遣要請があれば積極的に職員を派遣するとともに、飛騨市の防災体制強化のため、被災地を視察調査し知識習得を図ります。

平成26年12月には大雪による倒木により長時間の停電が発生したこともあり、市では、大雪、地震や浸水などによる災害時の停電対策として、指定避難所へ非常用発電機等を配備し地域の防災力向上を図ります。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・南海トラフに対応する自治体のように、飛騨市においても備えが肝心ではないか。

3 事業概要

①熊本地震職員派遣及び視察調査（500千円）

被災地の復興支援のため、派遣要請による職員（保健師等）派遣を行います。また、被災地が落ち着いた段階で、防災担当職員・廃棄物対策職員・災害ボランティア担当職員などで現地視察調査を実施します。

②非常用発電機等の配備（2,300千円）

発電機・投光機・コードリール・投光機用三脚の4点を1セットとして、古川町内7箇所の指定避難所に配備し、避難所の充実を図ります。

尚、平成29年度以降も順次防災備品の拡充を行います。

配備場所 貴船公民館・青龍会館・栄町防災センター・末高研修センター・
数河緑地管理中央センター・中野公民館・畦畑公民館

(款) 02 総務費(項) 01 総務管理費 (目) 11 防災諸費		
所属	総務部	総務課

公共施設等総合管理計画策定事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
3,400	一般財源	3,400 委託料
(前年度 0)		3,400

2 事業背景・目的

今後は、人口減少や人口構成の変化とともに財政支出の構造が大きく変化すると予測されている中、国からは、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための「公共施設等総合管理計画」策定が求められています。本計画は、市が所有する施設等の現状や課題を把握分析し、施設全体の管理に関する基本的な方針を策定するものです。この計画に基づき「施設需要の変化に応じた質と量の最適化」「事後保全から予防保全への転換」「財政負担の軽減と平準化」を図ることで、公共施設等における行政サービスを最適で持続可能なものとするを目的としています。

3 事業概要

①公共施設等総合管理計画策定支援業務（3,400千円）

現在、市では公共施設等総合管理計画の策定を進めているところです。この過程において、所有施設等の維持及び更新に要するコストについて総務省が配布した計算ソフトにより機械的に試算したところ現実的ではない結果となりました。このため、主要な施設の現地調査を行い、トータルコストの縮減と平準化を図るために、長期的視点に立った老朽化対策や適切な維持管理修繕の予防的保全について建築分野等の専門家の助言と支援を受けながら、より実効性のある計画を策定するものです。

②公共施設等総合管理計画策定委員会による検討（ゼロ予算）

本計画を策定し、公共施設等の配置の最適化と効率的な行政運営を図るため、市では職員で構成する総合管理計画策定委員会を設置しています。市が所有する公共施設等は、「学校教育系施設」「市民文化系施設」「スポーツ・レクリエーション施設」「産業・観光系施設」「保健・福祉施設」「行政系施設」「市営住宅」など多岐にわたります。

市の横断的なメンバーで組織する本委員会で慎重に検討を重ねながら、専門家の技術支援を受けて今年度中の計画策定を目指します。

(款) 2 総務費(項) 1 総務管理費 (目) 5 財産管理費		
所属	総務部	財政課

ふるさと納税推進事業

1 事業費（単位：千円） 1,992 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 1,992	【主な使途】 賃金 1,396 使用料 540 手数料 56
--	---------------------------------	--

2 事業背景・目的

全国的にふるさと納税の規模が拡大しており、飛騨市においても昨年度は納税額ベースで約1億3千万円、返礼品が約6千万円の予算規模となりました。これは昨年度途中から、返礼品の品揃えを豊富にしたことが、納税額が伸びてきた要因の一つです。

今回の補正では従来までの納税サイト「ふるさとチョイス」以外に、別サイトによる入口部分と、返礼品の見直しの事業拡充を図ります。

※大手航空会社のふるさと納税サイト活用を想定

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・参加事業者との意見交換時に、高額納税をターゲットとした商品造成、仕組みづくり等提案あり

3 事業概要

①ふるさと納税の事務に当たる補助員の拡充（1,396千円）

現在、飛騨市のふるさと納税は、昨年同時期と比較しても増加しており、その申込みなどに対する人的（補助員）な拡充を図ります。

②ふるさと納税支援サイトの活用拡大（596千円）

現在はインターネットサイト最大手の「ふるさとチョイス」を利用した事業スキームとしているが、参加自治体が約1000自治体と多く、飛騨市の情報が埋もれてしまう可能性があります。そこで、「ふるさとチョイス」とは異なる層の方々をターゲットとしたふるさと納税について情報を発信し、飛騨市及び特産品についてのPRを強化します。

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 1 総務管理費		
所属	企画部	企画課

地域おこし協力隊活用事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
8,440	一般財源	8,440
（前年度 0）		報酬 3,984
		委託料 2,824
		その他 1,632

2 事業背景・目的

人口減少や高齢化等の進行が著しい飛騨市においては、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域づくりの中核となってもらうことが必要です。地域振興協議会と市長との意見交換会でも積極的な活用の声があり、地域力の維持・強化を図ることを目的とします。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・地域おこし協力隊を地域に派遣していただき、振興協議会等の活動に力を貸してもらいたい

3 事業概要

①まちづくり協議会体制整備及び「(仮称) 飛騨市体験博」の事務を担当する人材の配置 (2,644 千円)

市民活動の母体となるまちづくり協議会の体制整備や、様々なまちづくり活動・団体の連携・発展に取り組むとともに、これらの集大成となる飛騨市型「おんぱく」の仕組みづくりを目指します。

②地域住民と連携して河合町の地域おこしに取り組む人材の配置 (2,898 千円)

主に地元の地域振興協議会や宿泊施設などと連携し、地域内の様々な資源を小規模な体験交流型イベントを通じて誘客に結びつける仕組みづくりと、野草茶やグラノーラ等に代表されるスモールビジネスの自立支援などを行います。

③地域住民と連携して宮川町の地域おこしに取り組む人材の配置 (2,898 千円)

宮川町地域振興協議会と連携しながら、現在市場での引き合いが強い「露地栽培みょうが」の生産と販売、ブランド化のほか、在来種等宮川町の特色ある農産物の生産等を通じた年間所得の確保を目指し、農業経営者としての自立と宮川町における定住モデルを実践します。



地域資源を活用した小規模な体験交流型イベント「こもとうふ作り」

(歳) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 6企画費		
所属	企画部	企画課

ふるさと子ども大使事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
135	一般財源 135	使用料 73
（前年度 0）		消耗品費 40
		その他 22

2 事業背景・目的

市内の子どもたちが市内の伝統・文化・自然等を学ぶ機会を設けることで、地域に誇りと愛着を持つ「ふるさと子ども大使」に任命し、飛騨市内外を問わず積極的に飛騨市の魅力、地域での情報発信などの活動を委嘱します。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・参加した小学生から「飛騨市のために自分も何かやりたい」との声があったことを受けたもの

3 事業概要

①ふるさと子ども大使講座（135千円）

市内の小学校4年生～6年生を対象。夏休み期間中に市内4町をめぐるバスツアー「ふるさと講座」を実施。市内各地の伝統文化や成り立ちなど（例：山中和紙の紙漉体験、神岡鉦山の昔と今の状況、種蔵の棚田、祭り文化、飛騨の匠文化など）を学んでもらう。受講後に山中和紙による任命証及び名刺を渡す予定。

②将来の飛騨市像（ゼロ予算）

ふるさと子ども大使講座を夏休みの自由研究活用してもらったりなど、積極的に飛騨市の魅力をPRしてもらったりと共に、望ましい将来の飛騨市像について、子どもならではの視点から市に伝えてもらう。

（款）2 総務費 （項）1 総務管理費 （目）6 企画費		
所属	企画部	企画課

(仮称) 飛騨市ファンクラブ事業

1 事業費 (単位: 千円) 1,300 (前年度 0)	【財源内訳】 一般財源 1,300	【主な使途】 印刷製本費 1,100 食糧費 200
---	---------------------------------	---

2 事業背景・目的

飛騨圏域外の個人、団体等に飛騨市の魅力ある情報を発信し、末長く交流の持てる関係性を構築しつつ、飛騨市の魅力を多方面に発信してもらうためにファンクラブを創設します。将来的には、エリア別の「ファンの集い」を開催する予定。

なお、当初は 500 人程度の会員を目指し、関東飛騨市会や東海飛騨市会、その他、市と関係のある個人団体を中心に募集。その他、広報等で市民にも協力していただき、都市部で居住している親族や友人等も紹介していただくほか、ふるさと納税に協力していただいた方も積極的に勧誘します。

3 事業概要

①飛騨市ファンクラブ会員証等の作成経費 (1,100 千円)

ファンクラブ会員証、飛騨市公認ファンクラブ会員名刺等を作成するほか、ファンクラブ加入者を募集するチラシを作成します。

一般のファンの他に、飛騨市のPRに関しより広くより多くより影響力があると見込まれる方を特別会員として認定し、その特別会員証を作成します。

②飛騨市ファンクラブ会員及び配布された名刺の活用 (200 千円)

飛騨市ファンクラブ会員及び会員から配布された名刺を持参してきた方に対する特典として、ノベルティを配布します。

この他、市内商工関係団体と協議の上、協力していただける店舗を募集し、飛騨市ファンクラブ公認のステッカー等を店頭貼っていただき、各商店にて可能な範囲でのサービスを実施していただくことを検討します。

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 6 企画費		
所属	企画部	企画課

空き家流動化対策事業

1 事業費（単位：千円） 4,517 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 4,517	【主な使途】 補助金 4,500 委託料 17
--	---------------------------------	--

2 事業背景・目的

市内にある空き家を活用しようとする場合、その多くが老朽化した建物で、特に水回りを中心とした設備の老朽化が著しい。一方、市内に新たに居住したい方は、最初から住居を新築、購入するにはハードルが高いため、賃貸での一軒家を望んでいる方が多い。そこで、老朽化した市内の空き家を賃貸物件とするために必要となる水回り等の改修費等を支援し、賃貸物件を増やすことで空き家の流動化を促進します。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・市街地の空き家が目立つ。利活用を望む
- ・空き家が多いが宿泊施設や休憩所に利活用できないか

3 事業概要

○空き家賃貸住宅改修補助金（4,517千円）

市内の空き家を賃貸物件とするために必要となる改修費等を補助します。

【補助率】 対象経費の1／2以内

【上限】 150万円

【対象者】 空き家を賃貸する所有者（新たに個人から空き家を購入し賃貸する市内宅建業者を含む。）

【対象経費】 空き家改修等の費用（水回り・床・壁・電気・屋根・雨樋等）

【対象物件】 「飛騨市住むとこネット」に登録する賃貸物件
5年以上賃貸に供する物件

【主な条件】 対象工事は市内業者が施工する10万円以上（税込）の工事とします。
対象者の二親等以内への賃貸は不可とします。

※審査事務は、専門家に委託

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 6 企画費		
所属	企画部	企画課

小さなまちづくり応援事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
10,320	一般財源 10,320	助成金 10,000
（前年度 0）		委託料 320

2 事業背景・目的

市内には自らが取り組む「まちづくり」団体が存在します。こうした活動を支援するとともに新たなまちづくり活動の育成や掘り起しを目指し、新たな支援を創設します。その活動内容を広く市民にPRできる機会をつくり、活動団体の更なるやりがいも期待できます。

今年3月に開催されたまちづくり協議会主催「ビジョンセッション そしゃそやぞ、やってみかな」で、参加者のやりたいこと、その活動に期待する市民の思いなどが発表されたことを受け、予算は毎年個人市民税の1%程度とし、まちづくり協議会の取組みを具体的な活動へつなげることも目的とします。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・宮川町の青年団は若者を盛り上げる活動を実施している。宮川だけでなく市内の若者を集めた活動をしたい
- ・今年の初金毘羅は古川の若者も参加してくれた。こういった場をもっと作ってほしい

3 事業概要

①小さなまちづくり応援助成金（10,000千円）

応募する団体等は、公開プレゼンにより自らの活動をPRし、市民による審査を通して合否を決定し、事業報告会も実施します。

審査にて合格した事業プランに対し助成金を交付。

今年度は、7月初旬に募集開始し、8月初旬に審査を予定。

助成率 8 / 10 対象事業費 上限 30万円

②小さなまちづくり応援事業公開審査（320千円）

今年度事業の8月初旬の審査の運営及び

来年度事業の3月中旬の審査の運営

○会場使用料、審査員謝礼を含む。

<small>(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 6 企画費</small>		
所属	企画部	企画課

薬草ビレッジ構想推進プロジェクト事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
6,189	一般財源 6,189	工事請負費 5,000
（前年度 7,500）		補助金 800
		その他 389

2 事業背景・目的

飛騨市が取り組んできた薬草によるまちづくりを更に拡大するため、市内に豊富にある薬草（過去の調査で245種類の自生を確認）を活用し、新しい商品や料理レシピの開発、健康をキーワードとした体験プログラムの実施などを通じて、健康寿命延伸と地域活性化を図ります。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・豊富な植物を活用して、まちおこしができないか。薬草をもっと研究すべき。
- ・野草茶をもっと広めてほしい。

3 事業概要

①市と民間事業者が連携した推進体制の再構築（ゼロ予算）

全市民的な取り組みを実施するため、市民と事業所、市民団体等との推進組織を設立する。それに先立ち、市役所内では既に部課横断推進組織として立候補を含む11名の職員によるプロジェクトチームを設置します。

②市民講座やイベント等を通じ、市民や事業者が薬草について学ぶことができる機会を提供（860千円）

薬草の知識・活用方法の普及と、事業のけん引役となるリーダー(実践者)を育成するため、市民講座や「薬草フェスティバル」などのイベントにより薬草について学ぶ機会を提供します。

③身近な薬草を実際に見て学ぶことのできるフィールドを設置（5,000千円）

薬草そのものの知識とその栽培方法等に関する知識を深めるため、市内に薬草を実際に見ながら学ぶことのできるフィールドワークの場として、薬草観察園を設置します。

④薬草と健康をキーワードとした魅力ある体験プログラムの研究及び実施（329千円）

薬草を活用した健康体験プログラムによる誘客を図るため、薬草を活用した商品や料理、人的資源、企業等の関連要素を洗い出し、魅力ある体験プログラムを作るための研究及びモニターツアー等を行います。



薬草の知識を学ぶフィールドワーク

(款) 2総務費 (項) 1総務管理費 (目) 6企画費		
所属	企画部	企画課

魅力ある地元高校づくり事業

1 事業費（単位：千円） 1,000 （前年度 289 ）	【財源内訳】 一般財源 1,000	【主な使途】 謝礼 800 消耗品費 180 傷害保険料 20
--	---------------------------------	---

2 事業背景・目的

吉城高校及び飛騨神岡高校の定員割れが続く中、両校が持つ本来の魅力と飛騨市ならではの魅力を結び付けることで、高校、地域住民、飛騨市が一体となり、地域全体で魅力化をPRすることで生徒数の確保を目指します。

【市民との意見交換会での主な意見】

- ・神岡高校の統廃合することを耳にしたが、これは事実か。存続の方向で県に要望してほしい
- ・市内の高校が統合するという話がある。高校生が通る姿というのは地元の活気になる。なくしたくない

3 事業概要

①研究者出前講座（500千円）

現役の大学生や世界最先端の宇宙物理学研究に携わる研究者から、研究内容や大学での活動、受験勉強の方法などを直接聞く講座を開催する。詳細については市内各学校及び東大側と協議を進める。宇宙物理学研究施設のある飛騨市でしか経験できないことを高校の魅力化につなげる。

②教えて！高校生ティーチャー事業（100千円）

吉城高校理数科の生徒が夏休みの市内小学生4年生～6年生を対象に、物理の授業を実施。同科は飛騨管内では吉城高校にしかなく、その特徴をPRすると共に、同校に訪れていただき、親子で同校及び理数科生徒の授業を体験してもらう。

③地域文化・観光について考えるワークショップの開催など（400千円）

飛騨市におけるインバウンドについて地域商店街と高校生がワークショップを開催。英語を軸とする地域の課題を一緒に考える。

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 6 企画費		
所属	企画部	企画課

先端科学都市構想推進事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
12,000	一般財源 12,000	報償費 600
（前年度 332）		委託料 10,000
		その他 1,400

2 事業背景・目的

スーパーカミオカンデをはじめとする世界最先端宇宙物理学研究では2名のノーベル物理学賞を輩出し世界が注目していますが、振動による研究への影響などで実験施設の見学は制約されています。また、重力波の観測施設であるKAGRAの本格観測が迫る中、実験に従事する研究者の宿泊施設が不足しており、研究に支障をきたす恐れがあります。

これらの課題を解決するために、研究内容を分かりやすく説明できる施設整備や研究機関が実施する研究者の宿泊環境の整備に向けた市有施設の有効活用、更には先端科学都市構想の推進を図るべく施設見学や講演会等啓発事業を展開します。

【市民との意見交換会での主な意見】

- ・ 宙ドームの展示施設が貧弱、情報が少ない、内容がわかりづらい。
- ・ 研究者の居住のほとんどが富山県。神岡町に居住できる環境を望む。支援すべき。

3 事業概要

①研究内容紹介施設及び市有施設等活用事業（11,106千円）

道の駅「宙ドーム神岡」の改修を念頭に、神岡の研究施設で行われている研究内容を分かりやすく紹介する施設整備に向け、有識者を含む検討組織を立ち上げ、施設の規模感や展示方法の検討をおこない、施設の基本設計をおこないます。

また、夢館を改修し、地元住民の使用に加え、研究者（諸外国の共同研究機関に所属する外国人研究者を含む）と地元住民の交流の場、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）等の学生がセミナーハウスとして利活用することを念頭に必要な改修内容を盛り込んだ基本設計をおこないます。

さらに、神岡町市街地の空き家等をリノベーションし研究者のシェアハウス等に使用できる環境整備をおこなうべく基本設計をおこないます。

②啓発事業（894千円）

研究内容を広く知っていただくために、KAGRA見学会、サイエンスカフェ、一般講演会等を開催します。

（款）2 総務費（項）1 総務管理費（目）6 企画費		
所属	企画部	企画課

旧神岡鉄道利活用検討事業

1 事業費（単位：千円）		【財源内訳】		【主な使途】	
	8,400	一般財源	8,400	委託料	8,400
	(前年度 0)				

2 事業背景・目的

レールマウンテンバイクは市が誇る観光資源の目玉へと成長し、昨年度における利用者数は4万人を超え、観光振興に貢献しています。市民との意見交換会でも推進して欲しい旨のご意見をいただいている新たなコースである「溪谷コース」の供用に向けた検討作業を進めるとともに、より魅力ある拠点整備の方向性についても調査・検討します。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・ふるさと応援寄附金を活用した溪谷コースの増設を検討してほしい

3 事業概要

①溪谷コース利活用調査委託（3,300千円）

溪谷コースの実現に向け、積極的に検討していくため、NPO神岡・町づくりネットワークへ委託し、調査を行います。



②レールパーク利活用調査委託（5,100千円）

旧神岡鉦山前駅に保存してある客車、奥飛騨1号・2号の移送を含む利活用について事業提案者であるNPO神岡・町づくりネットワークに委託し、調査します。

この中では、NPO神岡・町づくりネットワークから提案のあるレストラン列車にするなどの実現可能性についても調査・検討をおこないます。



（款）2 総務費（項）1 総務管理費（目）12 鉄道対策費		
所属	企画部	企画課

飛騨市特産品認定制度検討事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
800	一般財源 800	報償費 270
（前年度 0）		費用弁償 270
		委託料 260

2 事業背景・目的

市外、飛騨地域外から所得を稼ぎ、消費を拡大していくために、既存特産品のブランド化や新たな特産品の開発と販路拡大が必要であることから、飛騨市認定の特産品の認定制度を設けPRにつなげようとするものです。

【飛騨市特産会と市長との意見交換会での要望】

・飛騨市特産品認定制度の創設をお願いしたい。

3 事業概要

①飛騨市特産品認定基準検討会議の開催（540千円）

認定制度創設には数ある商品の中で飛騨市の認定特産品として位置づけるための制度設計、或いは貼付シールの運用基準など明確に定めておく必要があります。過去に実績のある外部有識者3名程度を交えて検討会議を開催し、年内には認定できるよう協議していきます。

②ロゴマークのデザイン作成（260千円）

飛騨市のPRはもとより、よく目立ち、末永く愛される「飛騨市認定特産品ロゴマーク」を作成します。シールの形状、色、デザインやストーリー性を重要視し、専門業者に委託します。



（数ある飛騨市の特産品に付加価値をつける）

（款）7 商工費(項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費		
所属	商工観光部	商工課

ビジネスサポートセンター開設準備事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
1,635	一般財源 1,635	委託料 1,635
（前年度 0）		

2 事業背景・目的

飛騨市内の中小・小規模企業の売上げ向上に向けた寄り添い型の相談支援を行う「(仮称) 飛騨市ビジネスサポートセンター」の開設を目指し、実績のある講師を招いて、行政・商工団体・事業者等関係者を対象にセミナーを開催して意識の醸成を図ると共に、飛騨市独自の支援のあり方を検討します。

3 事業概要

○セミナー開催経費（1,635 千円）

ビジネスサポートセンターは、全国に数多く存在し、その中でも特に有名なものが、愛知県岡崎市の「OKA-BIZ (オカビズ)」、静岡県富士市の「f-BIZ (エフビズ)」です。そのセンター長を講師に招いて、ビジネスサポートセンターの意義、支援内容をはじめ、これまでの全国の実績等を踏まえて、飛騨市が今後進むべき方向性を関係者とともに考えていくセミナーとします。



(款) 7 商工費(項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費		
所属	商工観光部	商工課

企業就職情報発信事業

1 事業費（単位：千円）		【財源内訳】		【主な使途】	
	3,000	一般財源	3,000	委託料	3,000
(前年度	0)				

2 事業背景・目的

市内企業からは人手不足を訴える声が多い一方で、現在、「企業ステーション Hida」と題して市ホームページにて市内企業を紹介していますが、高校生や大学生における認知度が高いとは言えません。さらに、より高い効果の期待できる施策を着実に進めていく必要があります。

そのため、既存ホームページも全面リニューアルし、ウェブサイトと関連する若者向け特に高校生向けの市内企業就職総合情報誌を作成して飛騨市内外の多くの高校生を対象に配布するとともに、飛騨市企業の魅力を伝えることで地元就職につなげていきます。

3 事業概要

①Web版就職情報の発信

既存の市内企業紹介サイト「企業ステーションHida」をリニューアルして一層の内容充実を図ります。希望者には、飛騨市内の就職に関連する情報をメール配信するサービスもあわせて行います。さらに就職総合情報誌の内容をパソコンやスマートフォンでも閲覧できる環境を整えます。

②就職総合情報誌の作成

市内企業の紹介、市内企業で活躍する先輩のインタビュー記事、市の支援制度紹介を柱にした若者向けの就職総合情報誌を作成します。特に就職希望の高校生だけをターゲットにするのではなく、大学進学などで市外へ流出する高校生にも興味をもってもらえるよう、身近な先輩が地元就職に関する「きっかけ」「やりがい」「普段の過ごし方」「飛騨の遊び方」などの切り口から後輩に対してメッセージ性のある内容とします。

（款）7 商工費(項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費		
所属	商工観光部	商工課

インターンシップ支援事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
600	一般財源 600	補助金 600
（前年度 0 ）		

2 事業背景・目的

インターンシップとは、学生が在学中から企業などにおいて実習・研修的な就業体験を通じ、就業意識の向上、働くことの意義、働くための知識及び技能の必要性の認識、そして社会人としての人間性を養い、将来の職業適性を考えていただく機会となることを目的としています。この制度は、実習する側には、希望する業種の実態が分かる、受け入れる側には、大学や学生への自社の認知度の向上や将来の採用への見極めへの活用といった双方にメリットがあり、市内就職に直接的に結びつくことが期待できるため、実施事業者に対して支援します。

3 事業概要

○インターンシップを受け入れる市内企業への支援（600千円）

インターンシップ（5日以上就労体験）を受け入れる市内企業に対して、かかる費用の一部を補助します。

【対象者】 インターンシップを受け入れる市内事業者

【対象経費】 事業者が負担するインターン生の滞在費用

【対象期間】 1回の申請につき、60日分を限度

【補助率】 対象経費の3分の1（上限なし）



（款）7 商工費(項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費		
所属	商工観光部	商工課

中心市街地店舗拡大促進事業

1 事業費（単位：千円） 3,000 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 3,000	【主な使途】 補助金 3,000
--	---------------------------------	--------------------------------

2 事業背景・目的

店舗の老朽化、後継者不足等により市内の商店街には空き店舗が多く見受けられるようになりました。市民からも町内の小さな店舗にも支援を望む声が増えてきています。

現在の市制度においては、新たな事業を起こす場合であれば起業化促進補助金の適用となりますが、同事業での複数店舗出店の場合は対象とならないのが現状です。

このような中、空き店舗が目立つ中心市街地において、2号店や3号店と店舗を拡大していく商店に対し新たな支援策を講じるものです。

3 事業概要

○中心市街地店舗拡大促進事業（3,000千円）

市内の中心市街地において、新たに2号店、3号店と店舗拡大するために必要となる改修費等を補助します。

【対象者】 中心市街地において、新たに店舗を拡大していく既存事業者

【対象経費】 店舗開設に必要な改修費や備品購入費など市が認める費用

【補助率】 対象経費の3分の2

【上限額】 100万円

【対象範囲】（古川町）駅前発展会、金森銀座発展会、旭発展会、広小路発展会、宮城会発展会、栄美会、ひだしん前発展会、本光寺前発展会、栄町発展会等
 （神岡町）西里通り商店街、本町通り商店街、大津通り商店街、東町商店街、仲町商店街、北新地商店街等



（款）7 商工費（項）1 商工費（目）2 商工振興費		
所属	商工観光部	商工課

飛騨古川まつり会館展示装飾検討事業

1 事業費（単位：千円） 725 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 725	【主な使途】 報酬 45 報償費 270 費用弁償 285 使用料 125
--	-------------------------------	--

2 事業背景・目的

平成4年の開館以来、大きく手が入れられていない飛騨古川まつり会館の入館者数は、平成14年の約14.9万人をピークに減少を続け、昨年度は2万人を割り込んでしまい、集客施設（観光施設）としての機能が十分に果たされていない状況にあります。また、現在の展示内容は、伝統ある古川祭の全体像が十分に表現されていません。

本事業は、飛騨古川まつり会館の集客力を高めるため、魅力的に祭文化を紹介できるような館内の展示装飾のあり方を具体的に検討することを目的とします。

本年11月下旬頃に「古川祭の起し太鼓・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録される見通しであることを踏まえ、飛騨古川まつり会館が、年間通じて国内外の観光客に古川祭の魅力を伝える「飛騨古川観光の中核施設」となるよう再生を図ります。

3 事業概要

○飛騨古川まつり会館展示装飾検討委員会の設置（725千円）

祭、文化財、歴史、博物館、観光等の分野の有識者および地元関係者による検討委員会を組織し、魅力ある館内展示装飾リニューアルに向けた検討を行います。

検討の参考とするため、同じくユネスコ無形文化遺産の登録候補である地域の類似施設（高岡御車山会館、こまつ曳山交流館みよっさ 等）を視察し、館内展示装飾の方法や工夫について調査を行います。

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費		
所属	商工観光部	観光課

「（仮称）飛驒市体験博」開催準備事業

1 事業費（単位：千円） 4,000 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 4,000	【主な使途】 委託料 4,000
--	---------------------------------	--------------------------------

2 事業背景・目的

少子高齢化や中心市街地の空洞化により、まちの活力衰退が懸念される中、飛驒市の活気を取り戻すことは、まちづくりの喫緊の課題となっています。

近年、地方創生の取り組みとして注目される「おんぱく」^{*}の手法を用いて地域資源を掘り起こし、市民が活躍する場を創出することにより、人材育成を含めた飛驒市の活性化を図ります。

^{*}おんぱくとは、地域資源を活かした小規模な体験交流プログラムを一定の期間内に集中して提供する地域のためのイベントをいう。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・滞在型観光や周遊型観光につながる様々な体験プログラムの提供が必要では。

3 事業概要

○「（仮称）飛驒市体験博」開催準備事業（4,000千円）

180余りの体験プログラムを展開し、全国最大規模に成長した「長良川おんぱく」について、運営ノウハウを伝達してもらい、飛驒市型「おんぱく」である「（仮称）飛驒市体験博」の開催に向けて事務局機能を構築します。（なお、仕組みづくりをする人材として、地域おこし協力隊を新たに募集します。）

プログラム提供者への研修実施、プログラム造成支援を行い、10プログラム程度の小規模な「お試しおんぱく」を実施し、来年度からの本格実施を目指します。

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費		
所属	商工観光部	観光課

まちなか観光案内所開設事業

1 事業費（単位：千円） 2,774 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 2,774	【主な使途】 工事請負費 1,069 委託料 822 賃借料 409 その他 474
--	---------------------------------	---

2 事業背景・目的

昨年度の4月から10月の7ヶ月間、社会実験として、古川町の市街地中心部の空き店舗を利用した「まちなか観光案内所」を臨時に開設したところ、外国人約3,600人を含む2万人余の観光客に立ち寄り頂き、非常に好評でした。

同期間における駅前観光案内所の利用者数（約1万2千人）よりも、まちなか観光案内所の利用者の方が多結果となりました。

この社会実験における実証効果を踏まえ、「まちなか観光案内所」を常設とし、市街地・市内各所の観光スポットおよび近隣観光地の情報を提供することにより、観光客の利便性向上を図ると共に、観光動態調査等の拠点としても活用することを目的とします。

3 事業概要

○「まちなか観光案内所」を常設（2,774千円）

古川町壺之町地内の空き店舗（旧野七商店）を賃借し、エアコン設置など最小限の改修を行った上で、「まちなか観光案内所」を常設します。

運営は、外国語（中国語・英語）にも対応できる市の臨時職員等2名体制で、毎日9時～16時まで開設します。



（昨年度のまちなか観光案内所）

（款）7 商工費 （項）1 商工費 （目）3 観光費		
所属	商工観光部	観光課

古川町中心市街地観光サイン整備事業

1 事業費（単位：千円）		【財源内訳】		【主な使途】	
	54,000	地方債	51,300	工事費他	54,000
（前年度	6,176	一般財源	2,700		

2 事業背景・目的

外国人観光客が急速に増加する中、劣化が進み、機能上も不十分な現在の観光サインについて、国内外の観光客双方にとって快適で分かりやすく再整備することが、受け入れ体制強化の面から無視できない状況となっています。

本事業により、飛騨古川の美しい町並みに相応しい観光サインに一新し、市街地における回遊性を高めるとともに、滞在時間の延長につなげます。

3 事業概要

○古川町中心市街地観光サイン整備事業（54,000千円）

昨年度、景観・観光関係者との町歩き踏査や意見交換のほか、「形状・大きさ・色」について模型を用いての現地検証を踏まえて「町並みサインデザイン計画」を策定しました。

これに基づき、中心市街地の観光サインを更新し、各要所へ観光客の誘導を図ります。

観光サインには、外国人観光客への対応として英語及び中国語（繁体字）を併記するとともに、要所には地図看板も設置するほか、市街地のWi-Fi利用可能箇所にはWi-Fi表示看板も設置します。

観光客の回遊性を高め、滞在時間延長に資するため、各屋台蔵に統一デザインで外国語併記の屋台説明板も設置します。



模型によるデザイン検証

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費		
所属	商工観光部	観光課

外国人観光客受入促進事業

1 事業費（単位：千円） 1,000 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 1,000	【主な使途】 補助金 1,000
---	---------------------------------	--------------------------------

2 事業背景・目的

国策として海外からの誘客が進められる中、平成 27 年度の駅前観光案内所の利用者約 1 万 8, 6 0 0 人のうち、28%にあたる約 5, 3 0 0 人が外国人観光客であり、その数は年々増えています。

市では、既に昨年から、希望する事業所に対して、外国人観光客受入体制充実を目的として、飲食メニューや店内表示の簡易翻訳（英語、中国語）サービスを実施しています。今後は本格的な外国人観光客受入として、市内宿泊施設、飲食店、小売店、観光施設等における体制の充実を図る必要があります。

3 事業概要

○外国人観光客受入促進事業補助金（1,000 千円）

近年、市内でも急速に増えている外国人観光客の利便性を向上させるため、市内の宿泊施設、飲食店、小売店、観光施設等を対象として、店内の案内表示、メニュー、パンフレット等の外国語表記や外国語版ホームページの作成などのソフト事業に係る費用の一部を補助し、外国人観光客受入体制の充実を図ります。

補助額については、対象事業費の 1 / 2、上限額 10 万円。



海外レストランの多言語メニュー

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費		
所属	商工観光部	観光課

コンベンション誘致推進事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
500	一般財源	500
（前年度 250 ）		補助金 300
		旅費 100
		印刷製本費 100

2 事業背景・目的

平成 27 年度に文化・芸術に関する市内交流事業を対象とした「文化芸術交流事業誘致補助金」を新設しましたが、補助申請実績がありませんでした。

このことを踏まえ、より利用しやすい条件に改めた「コンベンション開催支援補助金」として再構築するとともに、積極的な PR 活動を展開し、飛騨市への交流人口を増やすことにより、観光消費額の更なる増加を図ります。

3 事業概要

①コンベンション誘致事業（200 千円）

コンベンション開催支援制度や市内利用可能施設を掲載したパンフレットを作成し、飛騨・高山観光コンベンション協会等とも連携の下、高校、大学をはじめとする各方面に対し学会、研究会、会議、文化活動、スポーツ大会、合宿等誘致を目的とした営業活動をします。

②コンベンション開催支援補助金（300 千円）

飛騨市内の施設を会場として開催される小規模なものを含めたコンベンション（市内宿泊者数 10 名以上を対象とする）を誘致するため会場使用料等について補助します。

（款） 7 商工費（項） 1 商工費（目） 3 観光費		
所属	商工観光部	観光課

池ヶ原湿原遊歩道整備事業

1 事業費（単位：千円）		【財源内訳】		【主な使途】	
70,500		地方債	62,700	工事請負費	70,500
（前年度 4,753 ）		県支出金	4,500		
		一般財源	3,300		

2 事業背景・目的

市内三湿原回廊の一つであり、「岐阜の宝もの」にも認定されている池ヶ原湿原の魅力を高めるため、散策のために設置されている木道の延伸を行うとともに、積雪の過重により傾斜や歪みが生じている現木道を補修します。

またバリアフリーの観光づくりの一環として、湿原の外周を巡るユニバーサルデザインの新たな遊歩道を設置し、自然資源観光地としての魅力を高めます。

3 事業概要

○池ヶ原湿原遊歩道整備事業（70,500千円）

湿原の環境を保全しつつ、駐車場から目と鼻の先に広がる自然観光資源としての魅力を更に高めるため、車椅子も通行可能な、ウッドチップ舗装と木道が混在した新たな遊歩道を整備します。特にバリアフリー観光地づくりに向け駐車場から湿原までの歩道について、傾斜の緩いスロープ状の歩道に整備します。

今年度は、湿原中央の木道が湿原縁に合流した後の山裾の散策道を部分施工し、来年度に現状の木道のあり方を再検討します。



積雪で歪んだ木道

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費		
所属	商工観光部	観光課

病児・病後児保育委託事業

1 事業費（単位：千円） 9,000 （前年度 0 ）	【財源内訳】 国庫支出金 2,680 県支出金 2,680 その他 480 一般財源 3,160	【主な使途】 委託料 9,000
--	---	----------------------------

2 事業背景・目的

保護者の就労によって、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合があります。市内の保護者からも、仕事を休んだことで、自らの就業に多大な影響を与えられた例があったとの情報を得ています。このような事態を防ぐためにも、病児・病後児に対して一時的な保育により保護者の就労を支援することで、安心して子育てができる環境整備を推進し、児童福祉の向上を図る必要があります。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・小さい子がいる母親は、子の病気等で会社勤めを早めに切り上げなければならない時が多い。病児保育についても検討していただきたい。

3 事業概要

○病児・病後児保育委託事業（9,000千円）

病気の症状が回復しておらず、かつ当面の症状に急変が認められない児童を、専用の施設で専任の保育士や看護師が症状を見守りながら一時的に保育します。

(1)保育の種類

	対応類型	対象児童（市内通園児に限る）
1	病児対応型	病気の「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない児童
2	病後児対応型	病気の「回復期」であり、かつ、集団保育が困難な児童

(2)対象児童 市内の保育園または、広域入所による保育園に在園している児童

(3)対象となる症状 発熱、腹痛などの疾病、インフルエンザなどの感染症、骨折などの外傷性疾患

(4)利用定員 1日につき4名（ただし、感染症などの状況により制限する場合あり）

(5)開設時間 月曜日から金曜日の午前8時～午後6時

(6)利用料 1日1人あたり2,000円（予定）

(款) 3民生費 (項) 2児童福祉費 (目) 2児童保育費		
所属	市民福祉部	市民児童課

障がい者福祉施設整備補助事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
3,500	一般財源 3,500	補助金 3,500
（前年度 0 ）		

2 事業背景・目的

飛騨市内には、障がい者グループホームが整備されていないため、14名の方が、飛騨慈光会が高山市内で運営する施設や高山福祉サービス公社が運営する施設、岐阜市や富山市の施設を利用しています。

障がい者の家族からは、親無き後も、住み慣れた地域で将来も安心して生活できる住まいや支援体制の整備が望まれています。

利用者が飛騨市を離れることなく郷土に住み続けることができるよう、飛騨市内に障がい者グループホームを開設しようとする事業者に対し支援を行うことにより新規開設の誘導を図ります。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・子どもが大人になってからが不安。障がい者も高齢者も安心して過ごせる支援を検討してほしい。
- ・障がい者のグループホームは不可欠だ。

3 事業概要

○障がい者の住まい確保支援事業

飛騨市内に障がい者グループホームを開設しようとする事業者に対し助成します。

(1)国庫補助事業該当の場合

施設整備費の合計額から法的・制度的国庫補助金を控除した金額に100分の18を乗じて得た額以内の額（上限3,500千円）

(2)国庫補助事業非該当の場合

施設整備費の合計金額のうち法的・制度的補助対象事業費の2分の1以内の額で、3,500千円を限度とします。

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉業務費		
所属	市民福祉部	福祉課

福祉事業基金積立金

1 事業費（単位：千円） 600,000 （前年度 2,206 ）	【財源内訳】 一般財源 600,000	【主な使途】 積立金 600,000
---	-----------------------------------	----------------------------------

2 事業背景・目的

養護老人ホーム和光園の老朽化や入所者の処遇改善のため、平成 27 年度から養護老人ホームの新築に向けた和光園整備事業に取り組んでいます。

平成 28 年度に用地取得、平成 29 年度～平成 30 年度に養護老人ホームを隣接地に新築し、現施設は他の福祉目的に利用する予定です。

3 事業概要

○福祉事業基金積立金（600,000 千円）

合併特例債等の財源を活用して、和光園整備事業を計画していますが、多額の建設費等が必要になるため、平成 27 年度決算に係る決算剰余金積立相当額を福祉事業基金に積みます。

新築する和光園は、定員 50 人で全室個室とし、短期入所用の居室も整備します。

現在の和光園は、大規模改修を行い、男女別の障がい者グループホームや生活困窮者支援用の住居を整備し、24 時間定期巡回型の訪問看護・訪問介護ステーションを併設する予定です。



（款）3 民生費（項）1 社会福祉費（目）1 社会福祉総務費		
所属	市民福祉部	福祉課

在宅重症心身障がい児医療型短期入所支援事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
300 (前年度 0)	一般財源 300	利用者負担助成費 300

2 事業背景・目的

重症心身障がい児を在宅で養育している家族にとって、短期入所の利用は、家族の病気や事故、冠婚葬祭などによる利用のほか、介護疲れを招くことのないように保護者のリフレッシュを図るためにも有効です。

医療ケアが必要な重症心身障がい児について、今年から医療型短期入所サービスとして高山赤十字介護老人保健施設はなさが利用できるようになりました。

しかし、福祉型短期入所サービスと比べ、保険給付外のサービス費（個室・居住費、食費等）が高額になるため利用を躊躇されています。

緊急時の受け入れが円滑にできるように、普段から短期入所の複数施設利用や医療型短期入所サービスの定期的な利用が気軽にできるような支援を行います。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・飛騨市は専門の病院も事業所もないが、障がい者も高齢者も安心して過ごせる支援を検討してほしい。

3 事業概要

○在宅重症心身障がい児医療型短期入所支援事業（300千円）

市が独自に実施している障がい福祉サービスの利用料減免事業の拡充として、医療型短期入所を利用する場合は、保険給付外のサービス費である個室・居住費の経費を助成し、レスパイトサービスの利用促進を図ります。

(款) 3民生費 (項) 1社会福祉費 (目) 2障がい者自立支援費		
所属	市民福祉部	福祉課

自発的活動支援事業

1 事業費（単位：千円） 1,936 （前年度 0 ）	【財源内訳】 国庫 968 県費 484 一般財源 484	【主な使途】 委託料 1,936
--	---	----------------------------

2 事業背景・目的

障害者総合支援法や障害者差別解消法等が施行され、障がい者の生活・権利が保障されつつあり、障がい者本人や家族の視点から生活や環境を見直し、改善することが求められています。

障がい者本人や家族が中心となって設立された「特定非営利法人 飛騨市障がいのある人を支える会」に事業を委託し、飛騨市で自立した日常生活や社会生活が営むことができる共生社会の実現に向けた取り組みを行政や地域と共に行います。

【市民との意見交換会での主な意見】

- ・市内に、障がい児者やその親同士で交流できる場所を設けてほしい。

3 事業概要

○自発的活動支援事業（1,936千円）

(1)ピアサポート事業

親が子どもの障がいの受容に至るまで、精神的なサポートが必要です。同様の経験を有する方が不安のある親の相談や助言等を行うことで、親が子どもの障がいと向き合えるよう支援するペアレント・メンターを養成します。

また、一般的な講演会では親の悩みの解消に至らないケースが多いため、親のニーズに応じた学習会を開催します。

(2)社会活動支援事業

市内には、障がい児・者が余暇活動を行う場所や支援者が少ないため、学校から社会に出てからの仲間づくりが進んでいません。月に数回程度、気軽に立ち寄り、お茶を飲んだり雑談ができる場を設けることで、障がい児・者の仲間づくりを支援します。

(3)災害対応支援

飛騨市での災害を想定し、障がい児・者本人や家族が安全に避難できるための方策を考え、行政とともに改善を図ります。

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 2 障がい者自立支援費		
所属	市民福祉部	福祉課

発達支援センター相談支援体制強化事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
235 (前年度 180)	一般財源	235 報償費 150 旅費 85

2 事業背景・目的

発達障がい児・者は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手で、その行動や態度によって、周りの人に誤解されることがあります。

発達障害のある子どもは、その特性に応じた支援を受けることができれば社会に適応する能力を身につけ、さまざまな能力を伸ばしていくことができるが、適切な支援方法がわからないことで、多くの保護者が育児の悩みや将来に関する不安を抱えています。

市では、個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、子どもの中から「特性の気づき」と「適切な支援」、そのための「保護者や支援者の理解」が必要であると考え、保育士等の勉強会を開催することで、対象児童へ適時・適切な支援を行います。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・障がいの特性等について周囲にも理解を深めてほしい。
- ・支援者を対象に、専門知識を持った人によるスキルトレーニングを行ってほしい。

3 事業概要

○発達支援センター人材育成事業（235 千円）

保育士を対象とした子どもの発達を伸ばす具体的な保育の実践方法や障がいの特性に応じた個別の支援に関する研修会を開催します。

研修を継続することで、発達障がいのある人に対する適切な理解と支援ができるよう市民意識の向上を促進します。

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費		
所属	市民福祉部	福祉課

老人福祉施設整備補助事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
41,089	県補助金 37,589	補助金 41,089
（前年度 46,678 ）	一般財源 3,500	

2 事業背景・目的

1 億総活躍社会の実現に向けた介護離職ゼロの対策により、介護施設等の整備促進のための財源が国の平成 27 年度補正予算において確保されました。このことによる市町村への整備促進の要請をもとに、本市においては、新たに民間による認知症高齢者グループホーム 9 床の整備を当該財源活用により推進し、課題である認知症対策や市民の入居施設増設の声に応えます。

3 事業概要

○民間事業者の認知症高齢者グループホーム整備・準備経費への補助（41,089 千円）

国の補正予算による財源により県の補助を受け、その額に市独自に額の上乗せを行い認知症高齢者グループホーム 1 ユニット 9 床の民間事業者の新規整備について支援します。

整備工事費に 1 施設あたり 35,500 千円（うち市上乗せは 3,500 千円）、開設準備経費として備品購入等に 5,589 千円（1 床あたり 621 千円）を整備事業者へ補助します。

現在古川町上町の空き家を改修してグループホームとして活用する計画があり、当該事業者に対し支援を行います。



（款）3 民生費（項）1 社会福祉費（目）3 老人福祉費		
所属	市民福祉部	健康生きがひ課

買い物弱者対策支援事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
2,400	一般財源 2,400	補助金 2,400
（前年度 0）		

2 事業背景・目的

飛騨市の高齢率化は、36.95%と既に3分の1以上が65歳以上の高齢者となっています。また、商店街などの小売店の廃業などにより、徒歩生活圏での買い物が困難な状態が生じています。

河合町 40.12%、宮川町 43.47%、神岡町 43.18%と3町で高齢化率が4割を超えており、自力では買い物できず、ヘルパーなどに買い物を依頼する方が増えています。

これらのいわゆる買い物弱者に向け移動販売事業を行う事業者に対し、その事業への参入・事業継続の支援を行うことで、移動販売を利用される市民が店舗と同様に、自ら必要な物を選んで買い物ができる楽しみが生まれ、いきいきとした生活を送ることを目的とします。

3 事業概要

○移動販売事業者運行経費及び改造車両購入費補助事業（2,400千円）

生鮮三品並びに生活必需品を冷蔵設備等のある移動販売車両により販売する事業者に対し、その運行経費（燃料費・人件費・修繕費・車検費）及び改造車両の購入費等の一部を補助し、事業の継続を図ります。



市内で稼働中の移動販売車

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 3 老人福祉費		
所属	市民福祉部	健康生きがい課

高齢者等屋根融雪等整備助成事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
2,500	一般財源 2,500	助成金 2,500
（前年度 0）		

2 事業背景・目的

本市において、冬季の除排雪作業は市民生活に大きな負担となっています。

特に高齢者のみの世帯が増えており、自力での屋根の雪下ろしや家周りの除排雪が困難との相談も増えています。

高齢者や身体障がい者など除排雪作業が困難な方が行う屋根融雪等整備費の一部を助成することにより、住み慣れた地域に安心して住み続けていただくことを目的としています。

【市民との意見交換等での主な意見】

- ・雪下ろしが体力的に厳しく、克雪住宅補助金の見直し継続を検討して欲しい

3 事業概要

○高齢者等住宅克雪型屋根改修費助成（2,500 千円）

高齢者世帯、障がい者世帯等に対し、屋根融雪等の整備にかかる費用について次のように助成します。

- ・補助上限額は、30 万円から 50 万円に拡大します。
- ・補助率は、対象経費の 30%から 50%とします。
- ・補助額は、所得税額に応じて以下のとおりとします。

対象者	補助上限額
所得税非課税世帯	500,000 円
所得税額 15,000 円以下の世帯	400,000 円
所得税額 15,001 円以上 70,000 円以下の世帯	300,000 円
所得税額 70,000 円を超える世帯	200,000 円

（款）3 民生費 （項）1 社会福祉費 （目）3 老人福祉費		
所属	市民福祉部	健康生きがひ課

介護人材確保対策事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
10,877	その他	1,470 委託料 3,147
（前年度 0）	一般財源	9,407 補助金 7,600
		その他 130

2 事業背景・目的

本市では今後約 10 年間介護需要が増加し続けると推計をしています。すでに現況において、介護従事者の確保が困難な状況になっており、介護人材不足により増床部分が開所できない介護施設も生じています。

介護施設との意見交換により、市外の研修参加の負担や夜勤者の離職等の課題が浮き彫りになり、介護人材確保は喫緊の課題となっています。介護人材確保のための取組みを短期、中長期等多様な視点で捉え複数の施策により重層的に対策を講じます。

3 事業概要

①地域内の新たな介護人材の掘り起こし

(1)介護職員初任者研修実施事業・・・(3,147 千円)

市内で初任者の研修受講機会を確保します。

(2)介護福祉士実務者研修費用助成金・・・(250 千円)

職員の研修受講料を負担している介護事業所へ 1 人 5 万円分を助成します。

(3)シニア介護事業所就職奨励金・・・(500 千円)

市内介護事業所に常勤介護職として採用され引続き 6 ヶ月以上勤務した方に 5 万円の奨励金を交付

②緊急対策

特養夜勤者処遇改善臨時交付金・・・(3,850 千円)

市内特養の夜勤介護職の手当の増額財源を市で法人へ交付 夜勤 700 円/回

③介護職の職場負担軽減

介護ロボット導入モデル支援補助金・・・(3,000 千円)

市内の特養に介護ロボットを導入し、介護負担軽減の効果検証を実施

④その他対策

(1)在宅介護アドバイザーの介護家庭への派遣事業・・・(30 千円)

熟達したヘルパー経験者を介護技術指導や介護相談がしたい家庭へ派遣します。

(2)次世代の介護職養成啓発・・・(100 千円)

返還免除条件もある県の介護職修学資金貸付制度や各種制度を P R します。

(敬) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 3 老人福祉費		
所属	市民福祉部	健康生きがい課

高齢者リハビリ元気推進プロジェクト事業

1 事業費（単位：千円） 3,300 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 3,300	【主な使途】 報償費 160 補助金 3,000 その他 140
--	---------------------------------	--

2 事業背景・目的

介護におけるリハビリについては、急性期・回復期の病院等を主体としたリハビリに偏りがちとなっていて、在宅生活において、生活の質を高めるための生活期や予防期のリハビリ提供機会が少ない傾向にあります。そのため、専門のリハビリ職が持つノウハウを在宅生活の中で多数の市民に還元できる体制づくりが課題となっています。

リハビリを重視した介護や介護予防の支援体制づくりを新たに展開し、高齢者が在宅における生活の質（QOL）を高め、より元気に暮らせることを目指します。

3 事業概要

市内にまだひとつもないリハビリ専門職が提供する介護保険のリハビリ系通所施設の誘致を重層的に講じるとともに、市民へのリハビリ利用促進、介護事業者の連携支援、地域リハビリ職のスキルアップを図ります。

①専門リハビリ職によるリハビリ通所サービス施設の開設誘致・支援(3,000千円)

専門リハビリ職が行う介護保険の通所系サービスを開設する場合にリハビリ機器の購入に1施設につき3,000千円の支援を行います。

②地域リハビリ力の向上支援(300千円)

(1)市民へのリハビリ利用促進に向けた啓発

市民講座の開催

高齢者支援関係者への研修

(2)介護事業者のリハビリを通じた多職種連携支援の推進

ケアマネや理学療法士等への生活期リハビリ視点での取組みに係る講習会の開催

介護サービス事業者等に対するリハビリによる連携支援の取組みの啓発研修

(3)地域リハビリ職のスキルアップ

新しいリハビリ知識を得るための講習会の開催

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)3 老人福祉費		
所属	市民福祉部	健康生きがい課

河合デイサービスセンター設備改修事業

1 事業費（単位：千円）		【財源内訳】		【主な使途】	
	4,400 (前年度 0)	一般財源	4,400	工事請負費	2,800
				備品購入費	1,600

2 事業背景・目的

介護サービス資源の少ない河合、宮川方面におけるサービス拡充策として、要支援・要介護認定者が自宅に近いところでショートステイができる環境整備を図ります。市で指定管理施設として運営している河合デイサービスセンターの改修等を行い、保険外宿泊サービスが提供できる体制を整え、かねてより要望のあった河合・宮川方面の在宅介護サービスの拡充を図ります

3 事業概要

○河合デイサービスセンター宿泊サービス対応に係る設備の改修等（4,400千円）

河合デイサービスセンターを活用した保険外宿泊サービスを整備し、将来的に小規模多機能型居宅介護の運営へと発展させることも見据え、上限9名の宿泊ができるよう、消防法令により必置となるスプリンクラーの整備とベッドやパーテーション等の必要備品の購入を行います。



河合デイサービスセンターの外観と内部の様子

(款) 4 滞在費 (項) 1 保健滞在費 (目) 5 保健センター管理費		
所属	市民福祉部	健康生きがい課

飛驒エゴマの里推進プロジェクト事業

1 事業費（単位：千円） 7,817 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 7,817	【主な使途】 補助金 7,000 委託料 470 その他 347
--	---------------------------------	--

2 事業背景・目的

市では、平成 25 年に品種登録した「飛系アルプス 1 号」（以下「飛驒エゴマ」という。）に着目、他の在来種との差別化を図り、地域の特産品としてのブランド確立に向け、市長直轄事業による市役所内で横断的に取り組みます。

このプロジェクトにより、純飛驒市産で安心・安全かつ、他のエゴマにない特徴を備えている飛驒エゴマを全国に向けて発信、エゴマ生産農家、関連商品の製造元、販売元と飛驒市役所が連携した農商工連携による市内経済の好循環を図り、飛驒市の活性化につなげていきます。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・飛系アルプス 1 号が地元の産業として発展するよう力を注いでほしい。
- ・エゴマカプセルの増産をしてほしい。

3 事業概要

①飛系アルプス 1 号の生産出荷拡大（7,200 千円）

(1)農作業機械の改造・研究支援(5,000 千円)

エゴマ生産にあたっては専用の汎用機が無く、定植、収穫、乾燥、水洗いといった作業の省力化が課題となっています。栽培・出荷工程の省力化に向け、既存の機械、設備の改良や専用機の開発に要する経費を助成します

(2)生産者への作付け奨励金(2,000 千円)

飛系アルプス 1 号の生産拡大を図るため、飛系エゴマ生産出荷組合への全量出荷を条件とし収量 1kg 当たり 1,000 円を助成します

(3)生産圃場拡大のための試験栽培(200 千円)

飛系アルプス 1 号の栽培実績の無い地域において栽培適地の拡大の可能性を探るため、発育状況等の情報収集を目的に気候、土質等の異なる環境で試験栽培します。

(款)6農林水産業費(項)1農業費(目)3農業振興費		
所属	農林部	農林課

②飛騨エゴマのブランド化（617 千円）

(1)飛騨エゴマ関連ロゴデザイン製作経費（270 千円）

飛騨エゴマの商標登録に向けて、ロゴ等のデザインの製作を委託する市民からの公募も視野に入れ、地域住民も親しみやすく、かつ市外の方にも受け入れられやすい名称及びデザインとし、ブランド化に資するものとします。

(2)飛騨エゴマ商標登録業務（347 千円）

決定した名称やロゴを商標登録し、来年度の商品から商標登録した名称やロゴデザインを反映したラベルやシールなどに変更します。

(3)飛騨エゴマ推進事業

飛騨エゴマ関連事業者による農商工連携により、市内経済の好循環を図るため、関係者と随時連携・調整を図り、市としてサポートを図りつつ、更なる商品化や販路拡大を目指します。

(款)2総務費 (項)1総務管理費 (目)6 企画費		
所属	企画部	企画課

伝統野菜振興事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な用途】
180	一般財源	180
（前年度 0 ）		報償費 40
		その他 140

2 事業背景・目的

伝統野菜（在来品種）は、その土地で古くから作られ、採種を繰り返していく中で、その土地の気候風土にあった農作物として地域の食文化を育んできました。

揃いが悪い、手間がかかるといった理由から、大量生産が求められる時代にあって生産が減少しましたが、地産地消が叫ばれる今、再び注目が集まっています。

先人が大切につないできた宮川町の種蔵紅かぶ、河合町の臼坂かぶら、神岡町山之村の白たまご（豆類）といった飛騨市固有の農作物や、シコクビエ、そば等の在来の雑穀類は、地域の貴重な宝です。

飛騨の風土に育まれた在来品種の農作物が持つ独特な風味、食文化と密接に関係してきた歴史を明らかにし、後世に伝えていくことは、農業振興のみならず、地域住民の精神的な豊かさの醸成等、地域振興の観点からも有効です。市内の在来品種を特定して、市独自の認証制度を創設、栽培技術の継承や種の保存に取り組みます。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・先人の知恵である伝統野菜にも力を入れたい。光を当ててほしい。

3 事業概要

○「(仮称)飛騨市伝統野菜調査委員会」運営経費（180千円）

- ・市内有識者や岐阜県中山間農業研究所の研究員等からなる委員会を設け、広報やアンケートを活用して市内で育まれてきた在来品種の農作物に関する栽培情報を収集、聞き込みや文献等を基に特定作業を行います。
- ・京野菜や加賀野菜等の代表的な伝統野菜の産地に赴き、食文化等を背景とした活用策や保護制度、地域住民の認識、市民生活へのかかわり等、在来品種である伝統野菜の継承に係る取り組みの調査を行います。
- ・飛騨市独自で在来品種農作物の定義を策定、「(仮称)飛騨市伝統野菜認証制度」を創設し、認証野菜の作付け奨励や、食文化の伝承、市内流通の促進につなげます。

(款)6農林水産業費(項)1農業費(目)3農業振興費		
所属	農林部	農林課

安峰山展望台歩道設置事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
994	一般財源	994 委託料
(前年度 0)		994

2 事業背景・目的

安峰山頂上の展望台は飛騨山系や古川盆地を一望でき、特に古川盆地が朝霧に包まれた様子は、市を代表する景観の一つとして市内外の多くの方に親しまれています。

バリアフリーの観光地づくりに向け、この景観を、歩行が困難な高齢者の方、肢体不自由な方（車いす使用者）が自由に眺望していただけるようにするため、展望台までの歩道設置を目的とした調査測量設計を行います。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・安峰山展望台を身体障がい者でも見学できるように整備を（安峰山林道管理組合からも同様の要望あり）

3 事業概要

○安峰山歩道調査測量設計委託（994 千円）

- ・安峰山頂上の展望台へ車いすでも行けるよう、ユニバーサルデザインに配慮した歩道を整備するための調査測量設計を行います。
- ・ユニバーサルデザイン（幅員 1.0m 以上 勾配 5%以下）に配慮した設計とするため、高齢者や障がい者の代表の方からの意見反映させた設計とします。
- ・なお、別途当初予算にて景観眺望の支障となる立木の伐採費用を措置しています。



（古川盆地を見晴らせる安峰山展望台）

（事業規模）

歩道計画延長 L=120m W=1.1m

測量対象範囲 A=3,600 m²

(款)6農林水産業費(項)2林業費(目)2林業振興費		
所属	農林部	農林課

生活道路等緊急整備事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
203,800	地方債 154,100	工事費他
（前年度 — ）	その他 640	
	一般財源 49,060	

2 事業背景・目的

国の補助事業費の減少と、市民からの要望が強い除雪対策や老朽化により生活環境に支障を来たしている舗装・側溝等の劣化に対して、単独費での事業促進と、緊急性が高い箇所について修繕等を実施し、地域の安全・安心の確保を図ります。

3 事業概要

①土地改良・林道整備事業

- ・土地改良関連（水路改良 1 箇所、舗装補修 1 箇所）
- ・林道改良関連（林道改良 1 箇所、舗装補修 1 箇所）

②道路新設改良・補修事業

- ・道路維持補修（市内全域:開閉式側溝蓋設置全域、路側補修 1 箇所）
- ・道路新設改良（道路改良 1 箇所、舗装補修 3 箇所、側溝修繕 4 箇所）

③公園管理臨時事業

- ・案内看板整備、舗装改良（古川駅前広場）
- ・公園修繕（公園 1 箇所）

④街並み環境整備事業

- ・道路修景整備（測量設計 1 箇所、工事 1 箇所）

⑤道の駅改修事業

- ・宙ドームトイレ改修（洋式トイレ設置）

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋梁費 他 (目) 3 道路新設改良費 他		
所属	基盤整備部	建設課・都市整備課

市道跡津川線調査設計事業

1 事業費（単位：千円）		【財源内訳】		【主な使途】
	13,000	一般財源	13,000	委託費他
	(前年度 0)			

2 事業背景・目的

市道跡津川線の国道 41 号からスーパーカミオカンデに至る区間は、地区住民のみならず、ノーベル賞を受賞した梶田先生はじめ多くの研究者等が通行する重要な道路であります。しかしながら、幅員が狭く、曲がりくねっており道路の形状も悪く、雪崩や落石が多い区間となっています。

こうしたことから、神岡町土地区からカミオカンデに至る区間を、県代行事業により道路改良事業が実施されていますが、国道 41 号タッチまでの区間は未事業区間となっており、当該工区について事前の予備設計を行い、早期の事業推進を図ります。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・宇宙線研究施設は飛騨市のシンボリックな存在。国道からそこに至る道路整備をお願いしたい。

3 事業概要

○市道跡津川線予備設計事業

国道 41 号タッチから約 260m 区間の測量、地質、設計業務を行ないます。

- ・測量業務 N=1 式（路線測量等）
- ・地質調査 N=1 式（ボーリング調査等）
- ・設計業務 N=1 式（道路、橋梁予備設計）



市道跡津川線（国道 41 号タッチ部分）

（款）8 土木費（項）2 道路橋梁費（目）3 道路施設改良費		
所属	基盤整備部	建設課

橋梁保全整備計画策定事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
5,000	一般財源 5,000	委託費他
（前年度 0 ）		

2 事業背景・目的

平成 21 年度に飛騨市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の老朽化に対して予防保全的に修繕工事を実施してきました。

平成 25 年の道路法の改正に伴い 5 年に 1 回の点検が義務付けられたことから、その点検を踏まえた修繕計画の見直しを行うと共に、耐震計画の検討を行ない、適切な施設管理を進めます。

3 事業概要

○橋梁補修計画策定、耐震計画検討事業

既存の長寿命化修繕計画に対して点検結果で判明した早期に補修が必要な橋梁群を含めた修繕計画の見直しと、今後必要と想定される橋梁耐震化の実施検討を行います。

- ・調査業務 （長寿命化実施状況、耐震化状況調査）
- ・基本方針検討 （整備水準、優先順位、耐震化検討）
- ・整備計画作成 （計画修正・報告書作成）



平成橋（宮川町塩屋）
H27 修繕実施



山田橋（神岡町船津）
H28 修繕予定

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋梁費 (目) 4 橋梁維持費		
所属	基礎整備部	建設課

百足城跡公園整備事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
4,200	地方債 4,200	委託費他
（前年度 0）		

2 事業背景・目的

古川町高野地内の県埋蔵文化財に登録されている百足城跡は、広葉樹などの自然に囲まれ、頂上付近からは古川町市街地を見渡すことができる良好な展望スポットであります。

こうした貴重な地域の魅力を有効に活用し、市民が歴史を学び、自然を満喫しながらくつろげる公園として整備します。

【市民との意見交換会等での主な意見】

- ・ 史跡は、市の大事な宝物。保全活動を通じて交流もできる。市の支援をお願いしたい。

3 事業概要

○公園整備事業

（整備方針）

- ・ 城跡山頂までのルートについて、安全で歩きやすい散策道の整備を行います。
- ・ 不要な樹木の伐採、カエデ等の彩りの良い樹木の補植を行います。
- ・ 文化財の価値を活かした公園整備を行います。

（H28年度予定）

今年度は公園整備に向けた測量調査及び土地の買収、立木の補償を行います。

- ・ 調査委託 地籍復元測量、立木補償調査
- ・ 土地購入 山林 4,500 m²、原野 1,200 m²
- ・ 立木補償 広葉樹 5,700 m²



（款）8土木費（項）4都市計画費（目）2公園費

所属	基盤整備部	都市整備課
----	-------	-------

ふるさと読本作成事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
398	一般財源 398	報酬 360
（前年度 0）		費用弁償 38

2 事業背景・目的

「次世代を担う子供たちに郷土愛、ふるさと愛の醸成をしたい」との思いから、その一環として小学校で使っている社会科資料「ふるさと読本」を子供から大人までが親しみをもって手に取り、ふるさと飛騨市に愛着を感じ、郷土愛を育む気持ちを醸成することができる副読本に改訂編集することを目的とします。

【市民との意見交換会での主な意見】

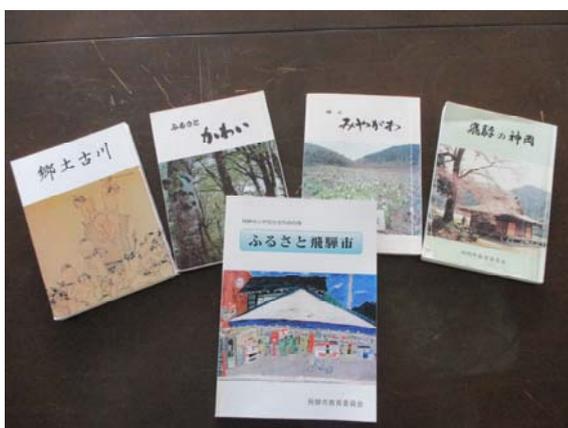
- ・郷土愛の醸成は、人口増加、雇用促進に繋がるのではないかと。

3 事業概要

○ふるさと読本作成事業（398千円）

「郷土古川」、「ふるさとかわい」、「郷土みやがわ」、「飛騨の神岡」の社会科資料を統合編集して、現行の小学校社会科資料「ふるさと飛騨市」を刊行しました。発刊から7年が経過し、内容の見直しをするのを機に「ふるさとの宝探し、光探し、自慢づくり」の観点から、小学生のみならず中・高生、一般市民にも親しく読むことができる内容・構成に改訂編集します。

編集には小学校社会科研究会教員のみならず、歴史や文化、民俗や慣習に詳しい学識経験者等に作成を委嘱します。平成29年度に「新ふるさと読本」として発刊します。



(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費

所属	教育委員会	教育総務課
----	-------	-------

ふるさと教育推進事業

1 事業費（単位：千円） 5,000 （前年度 5,000 ）	【財源内訳】 一般財源 5,000	【主な使途】 報償費 1,600 需用費 1,500 その他 1,900
--	---------------------------------	--

2 事業背景・目的

「子ども達の地域づくりへの参加を通じ、そこで生きる人々の生き様や考え方を学ぶ活動」を実現するため、従来の特色ある学校教育振興事業を深化させ、各小・中学校の創意工夫による地域に根ざした「ふるさと教育」を推進します。

本年度予算は、既に計画されている各学校の取組みを確保するとともに、今後は、柔軟に使いやすくも適正な執行を確保するルールを設け新たな事業とします。

3 事業概要

○ふるさと教育推進事業（5,000千円）

平成 29 年度に各校からのプロポーザルによる提案型事業とするため、本年度は移行措置として、各校の事業計画には予算の範囲内で基準配分し 8 校の特色あるふるさと学習活動を支援すると共に、広く市民にふるさと学習の成果を発表します。

各校が取り組んでいる「ふるさと学習」の例

- 古川小学校＝古川の伝統、文化の良さを知る活動。町探検活動。米づくり体験。
- 古川西小学校＝郷土料理学び活動。果樹園体験。ふるさと発見遠足。
- 河合小学校＝歌舞伎、匠太鼓体験学習。地域に伝わる盆踊り学習えんやら、加賀崎)
- 宮川小学校＝ナチュラル宮川宿泊体験活動（自然活動、そば打ち、郷土料理体験）
- 神岡小学校＝春慶塗り木のベンチづくり。天文学講座。天蓋山登山。RMB乗車体験
- 古川中学校＝乗鞍研修。職業講座、事業所研修。習熟度自己診断検査。
- 神岡中学校＝ふるさと神岡風景作品作成。ふるさと健脚。カミオカンデ見学。
- 山之村小中学校＝船津座公演。RMB体験。野菜づくり体験。

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費		
所属	教育委員会	学校教育課

飛騨市美術館等運営検討事業

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
200	一般財源	200	報償費	100
（前年度 0 ）			費用弁償	100

2 事業背景・目的

飛騨市美術館については、「施設が活かしきれてない」との声があることに加え、他の美術館や芸術家個人が所有する作品を借用・展示するには空調設備が不十分な状況にあります。そこで隣接する周辺施設を含めた再整備・運営の検討を行います。

【市民との意見交換会等での主な意見】

・特別展、企画展等の開催により、年間を通じて変化のある展示をしてほしい。

3 事業概要

○美術館等運営検討事業（200 千円）

新たに検討する組織を立上げ、組織には文化・芸術活動をされている市民の中から選任し意見を求め、また、内外の美術館運営に関わる専門家のアドバイスも受け、民芸会館、庭園美術館や文化交流センターも含めた施設の機能分担や連携を整理し、飛騨市美術館の運営方針を決めます。

また、他の美術館が所有する作品を展示するための環境条件を備えるため、施設空調・照明設備等の整備についても専門家の助言を受けて検討を進めます。



展示フロア（飛騨市市展）



民芸会館・庭園美術館（外景）

（款）10 教育費（項）4 社会教育費（目）4 文化施設費		
所属	教育委員会	生涯学習課

ユネスコ無形文化遺産登録推進事業

1 事業費（単位：千円） <div style="text-align: right; margin-right: 100px;"> 4,050 （前年度 0 ） </div>	【財源内訳】 一般財源 4,050	【主な使途】 報償費 275 負担金 3,000 その他 775
--	---------------------------------	--

2 事業背景・目的

ユネスコ無形文化遺産に申請中の「古川祭の起し太鼓・屋台行事」の登録に向けて、高山・大垣・高岡・南砺市など県内外の自治体と連携を深め、決定を機に単に古川祭に焦点をあてるばかりではなく、歴史学、民俗学、社会科学、建築学等の視点から祭を中心とする住民の生活や文化、まちづくりについて研究を継続することを目的とする。

3 事業概要

① ユネスコ無形文化遺産登録推進事業（3,000千円）

無形文化遺産保護条約の目的は「無形文化遺産の保護」であるが、古川祭という財産を長く後世に保護・継承していくためにも、あらためて市民の意識を祭に向け喚起させる。登録決定を機にシンポジウムでの「登録された祭パネルディスカッション」や「古川祭の歴史を学ぶ講座」、「写真展・映像展」、「屋台見送り展示」などを開催して飛騨市の祭文化やまちづくりを発信する。

古川祭保存会を中心に実行委員会を組織して官民一体となって事業展開する。

② 古川祭研究事業（350千円）

古川祭に関する歴史、研究資料の収集・蓄積から起し太鼓に関する伝統技術の伝承など、祭りに関する幅広い研究を行います。

③ ユネスコ関連観光PR事業（700千円）

北陸エリアの関係自治体と連携し、屋台行事等を広くPRするパンフレットを作成します。



(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 5 文化財保護費		
(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費		
所属	教育委員会、商工観光部	生涯学習課、観光課

ノルディックウォーキング普及事業

1 事業費（単位：千円） 322 （前年度 0 ）	【財源内訳】 一般財源 322	【主な使途】 報償費 15 備品購入費 286 その他 21
---	-------------------------------	--

2 事業背景・目的

市では、市民の健康意識の高まりを踏まえ、気軽に取り組むことができるノルディックウォークを普及させたいと考えています。この運動は足腰への過度な負担が少なく身体全体を使った有酸素運動として有効であることから、シニア世代を中心に市民に広く普及するために当スポーツ教室を開催します。

【市民との意見交換会等での意見】

- ・飛騨市スポーツ推進委員会では、市民の健康づくりのために重点普及種目として取組みたい。

3 事業概要

○ノルディックウォーキング普及事業（322千円）

スポーツ推進委員が普及に取り組んでいるノルディックウォーキングの更なる普及を図るべく、公認指導員による指導のもと今年度から市内全域で教室を開催します。これに合わせポール（ストック）用具を市の備品として購入し参加者の負担軽減を図ります。



(款) 10 教育費 (項) 5 保健体育費 (目) 1 保健体育総務費		
所属	教育委員会	生涯学習課

神岡町消防防災ヘリポート整備事業

1 事業費（単位：千円） 36,000 （前年度 0 ）	【財源内訳】 地方債 36,000	【主な使途】 工事請負費 36,000
--	---------------------------------	-----------------------------------

2 事業背景・目的

神岡町には専用のヘリポートがなく、ヘリコプターを利用する場合はグラウンドや駐車場を利用していたが、その都度使えるか確認し承諾を得る必要がありました。

岐阜県飛騨北部は岐阜県と富山両県のドクターヘリが飛来する体制が確保されており、通年使用可能な専用ヘリポートを整備することにより、飛騨市民病院から県内外の専門病院への転院搬送にドクターヘリを利用することができ、これまで以上に患者の救命及び後遺症軽減を図ることが期待できます。また、本地区は国道 41 号線以外に迂回路や鉄道等の代替手段が無いことから大災害等の有事での活用が見込まれます。

3 事業概要

○神岡町消防防災ヘリポート整備事業（36,000 千円）

神岡東グラウンド（旧神岡東小学校グラウンド）の南側（1 塁側）ファウルグラウンドの雑木林の伐採・土地の造成、舗装し専用のヘリポートを建設するものです。

なお、このヘリポートが完成することにより、年間 10～20 件程度のドクターヘリによる転院搬送が増えることを想定しています。

過去 3 年間の神岡消防署救急出動状況

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平均
救急出動件数	335	381	374	363
うち転院搬送件数	70	91	68	76
うち医師同乗件数	21	40	31	31
うち 8 時～17 時覚知件数	15	30	21	22

（転院搬送のうち医師が救急車に同乗し、8 時～17 時に覚知した 22 件がドクターヘリ搬送の適応事例となります。）

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費 (目) 1 常備消防費		
所属	消防本部	神岡消防署